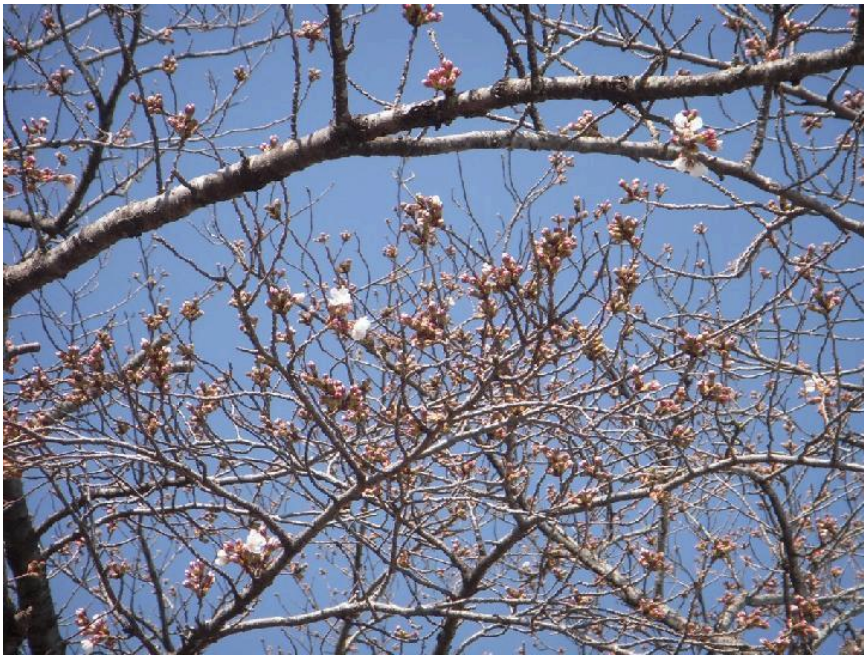




春訪れる

平成25年3月23日、かみね公園の桜が開花しました。平成25年の開花は全国的に早いようで、ここかみね公園でも日立市の天気相談所が昭和28年に観測を始めてから史上最速の開花日となりました。平成24年よりは、ナント17日早いそうです。動物園はかみね公園の敷地内にありますが、動物園の桜も早い木ではボチボチ咲き始まっています。あと1週間もすれば山全体が桜色に染まることでしょう。



開花。っていうかちょっと咲き

動物たちにも春が訪れています。まず、カピバラ。かみねでは始めてとなる待望の赤ちゃんが平成25年3月4日、一気に4頭誕生しました。詳しくは本ホームページでも既報の通りですが、カピバラを導入してから曲折はありましたが、とりあえず相性のいいペアに恵まれ、若い個体同士ながらも来園して1年を待たずに繁殖できたことは、ひとえにカピバラ導入にご協力いただいた埼玉こども動物自然公園さん、並びに那須どうぶつ王国さんのご協力があったからこそと思います。また、この被災獣舎の再建には全国からのあたたかい義援金も充てられました。この場を借りてお礼申し上げます。



カピバラ初の繁殖。

お客様からも、ちよくちよく親と一緒にグラウンドへ出ていく姿に、アイドルの出待ちさながらに「キャー、かわいい」の声があがります。この舎外はまだ不定期ではありますが、昼間、天気さえよければ結構見られるでしょう。運が良ければ池の中をスイスイ泳ぐ赤ちゃんを見られることも。担当者によれば生まれて間もなく水に入ったとか。目も歯もほとんど大人と変わらない状態で生まれてくることにびっくりします。やはり捕食者や外敵から身を守るための進化のプログラムなのでしょう。



早くも水に入るカピバラ赤ちゃん

そしてマーラ。こちらは結構繁殖しますが、今回も2頭誕生しました。マーラは繁殖率は高くてもその後の生存率はうちの場合低い傾向にありますが、何とか元気に育ててほしいものです。



マーラ母子

このほか、赤ちゃんは誕生しないものの、あっちこっちで交尾する動物たちも増えてきました。そんな中、ペアでお見合いを続けていたツキノワグマのナオ(オス)とベベ(メス)のグラウンド同居が始まりました。私が見たのは2日目からでしたが、一緒にするといきなりお互いの体の探り合いが始まりました。まあ、じゃれ合いとでもいうんでしょうか、明らかに相手を攻撃したり威嚇したりとは違う行動です。いわゆる甘噛みの応酬で、そもそもチンパンジーなどのように群れ社会の動物なら挨拶がわりというのもわかる気がします、単独を旨とするクマですからねえ。しばらく様子を見たいと思いますが、おそらくいい兆候なのではないか、と期待するところです。



キヤヤメテー、というほど嫌がってないベベ(下)

いずれにしても、春…。植物も動物も、息をひそめていた長い冬から解放され、いよいよその生命活動を活発化させる季節になってきたことだけは確かなようです。

PS：昨日このページをアップした後の本日（平成25年3月24日）15時30分ごろ、平成24年の秋に園内で見つけて園長室で飼っていた(ナンニもしてませんが) 蛹が、突然羽化しました。ここにも春が。



アゲハ目覚める

2013年3月23日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)